



内田えつし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

浦安の未来づくりのニューリーダー

浦安市特集 ● 12月定例県議会一般質問



12月県議会で一般質問に登壇した内田悦嗣県議

今後5年間で完成へ—旧江戸川の護岸整備

平成19年4月、地方政治家としての手腕を買われて県政界入りを果たした内田悦嗣(えつし)県議(浦安市選出)。持ち前の若さと勉強熱心さで、文字通り東奔西走の日々を送っており、県政界のニューリーダーとしての期待も高まっています。昨年12月定例県議会では一般質問に立ち、治水や親水空間づくり、子供の慢性特定疾患の補助枠の拡大、新たな交番の設置など、ふるさと浦安市の未来を築くための諸問題を取り上げ、県当局の考えを質しました。

内田 浦安市を流れる旧江戸川の護岸整備が行われているが、地震などの災害から地域住民の生命・財産を守る意味で、きわめて重要な事業であり、一日も早い全面整備を望んでいる。現在の進捗よく状況は？

区間の1・5キロメートルを合わせて2・3キロメートルを完成させる予定である。今後は、残る重点区間を約5年で完成させるべく努力する。

要望 護岸整備の早期完了と、それに合わせて雑草除去や補修など管理業務の強化を要望する。

●境川Bゾーン整備

内田 境川の江川橋から新橋までのBゾーン約640メートルは、地盤沈下のため排水が困難になっている。ここも災害に弱い個所であり、早急な改善をして欲しい。

地盤沈下、早期改善を

内田 境川Bゾーンの整備と区画整理事業との整合性をどう図っていくつもりか？

県土整備部長 護岸工事と区画整理事業を一体として整備する区間については、良好な水辺環境が確保され、同時に工事の施工効率も上がるよう地元と緊密な連携のもとに行うこととしている。

要望 境川Bゾーンは、いわば浦安の原風景ともいえるべき郷土の貴重な文化遺産。風情をきちんと残して整備をしてくれるよう特に要望しておく。

●見明川左岸の改修

500メートル区間を工事中

内田 見明川左岸は、平成18年に実施した県の調査で、沈下による危険箇所として確認された。その改修整備もぜひ急いで欲しい。

県土整備部長 確認された危険箇所のJR京葉線からその上流500メートル区間について、現在補修工事を行っている。

なお、これらの区間は周辺に住宅地が隣接しており、工事に合わせ地域住民の親水空間づくりに配慮した護岸整備を浦安市と協議しながら進めていく。

●堀江川の水質浄化

境川からの導水で—

内田 堀江川は、家庭雑排水が直接流入するため、水質の汚濁が進んでいるとされているが、水質浄化への県の対策を聞きたい。

県土整備部長 現在浦安市において、各家庭と下水道を接続する取り組みが行われている。県としても、浦安市の協力のもと、境川から堀江川への導水と堀江川排水機場沈砂地の泥の浚せつを行っているところだ。

●猫実川の水質浄化

浄化施設をフル活用

内田 猫実川の水質汚濁も深刻さを増している。堀江川と合わせて、美しい流れの復活に努めていただきたい。

県土整備部長 猫実川には、堀江川と違って浄化施設もあるため、これを生かした浄化を進めていくつもりだ。

内田えつし県議プロフィール

○経歴○

- 昭和40年 浦安市(当時町)堀江生まれ
- 昭和63年 浦安市役所入庁(在職14年4カ月)
- 平成15年 浦安市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選

○現職○

- 県議会 議会運営委員会委員 文教常任委員会委員
- 自民党県連 政務調査会審議委員 組織委員会委員 青年局青年部常任幹事 広報委員会委員

県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ—

内田えつし 県議事務所

〒279-0041 浦安市堀江3-22-1 TEL.047-351-6030

浦安市特集 12月定例県議会一般質問



▲エネルギーに県内視察をこなす内田県議(左から2人目)

堂本知事とちよつと立ち話(県議会議場で)

総合公園と一体的に工事

内田 高洲海岸の環境整備については、高洲、日の出、明海地区2500㎡を対象に、後背地の総合公園と一体的に整備することとし、平成4年度から事業が進められているが、近年工事が

日の出、明海地区の環境整備

その理由を聞きたい。県土整備部長 これまで、高洲地区に関しては階段護岸などが完成、平成12年に市民に開放している。しかし日の出、明海地区は、総合公園の造成の進捗よくとの整合の問題があり、平成10年度に事業をいったん中止した。

舞浜海岸の整備 親水空間にも配慮

内田 舞浜海岸については、地盤沈下によって既設の護岸が沈み込んでいることが分かったため、平成14年度から改修工事が進められている。現在工事は、どこまで進

んでいるのか? 県土整備部長 舞浜海岸は、高潮対策事業により、護岸の高上げ工事を実施しており、平成19年度末には全体の3400㎡のうち860㎡の事業が完了する予定になっている。なお、護岸整備に際しては、海岸を利用した快適な親水空間づくりに努めており、背後に遊歩道などもつくる計画である。

小児慢性特定疾患研究事業 「対象、助成枠を拡大せよ」

内田 小児慢性特定疾患の研究については、その実施主体の県、政令市、中核市が国の認定基準に基づいて取り組んでいるが、市町村間で受給者の格差が生じている。この事態を県はどう認識し、どう対処しようとしているのか? 健康福祉部長 ぜんそくを例にとると、国の基準で実施している本県においては、大きな発作が過去3カ月に3回以上起きている場合、また意識障害が伴う場合に認定の対象としている。しかし千葉市や船橋市では、一定の通院や入院歴を

持ち、引き続き治療を要する場合なども認定対象としているため、実施主体によって格差が出ているのが実情である。こうしたことから、千葉県としては、国に対し認定基準の緩和や対象者の拡大を要望しているところである。内田 国に基準緩和を要望しているとのことだが、国が基準の見直しや緩和を行わない場合、県として基準の緩やかな以前の制度に戻す考えはないか? 健康福祉部長 この事業は、平成16年の児童福祉法改正により、国の要綱だったのが法律に位置づけられたものの出交番を開設した。現時点では、新設する情勢はない。しかし「警察官が身近にいて欲しい」という住民の要望については十分承知しており、浦安市内に対してはパトカーによる巡回や地域住民との合同パトロールの強化に努めていく。

浦安にもっと交番を設置して

内田 交番は、地域の犯罪防止に大きな役割を果たす。世界に誇れる制度である。浦安市内の各地からも、近年「もっと近くに交番が欲しい」という切実な声が挙がっている。市内に交番をもっと増やして欲しいが、県は交番新

設に対してどのような基本的認識を持っているのか? 県警本部長 交番を新たに設置するには、その地域の人口、事件・事故の発生状況、隣接する交番、駐屯所との位置などを勘案して判断している。浦安市に関しては、平成18年4月に「日

12月県議会自民党代表質問

乳幼児医療費の拡大強く要望 12月定例県議会最大会派自民党の代表質問に、石橋清孝県議(東金市選出、3期)が登壇しました。石橋県議は、少子化の中、県民要求の強い乳幼児医療費助成事業について、通院医療費助成の対象を小学校就学前までに拡大するよう、県の決断を促しました。これに対し、植田浩副知事は「10月から助成対象を1歳引き上げ4歳未満とした」と報告。そして「県議会の意見や県民の強い要望を踏まえて、さらなる対象の拡大は必要と認識している」として、本県の厳しい財政状況や他県などの状況を踏まえて、「長期安定的に実施するために、所得制限の導入や自己負担額の増額なども視野に入れて調整中」と拡大に前向きな回答をしました。石橋県議は「負担金や所得制限等の条件はあっても、小学校就学前までに拡大すべき」と重ねて要望しました。

の。すべての対象患者が補助対象となったことで、他の都道府県と同様、千葉県も国の制度に移行した。しかしながら、国が示した認定基準は大変厳しいものであり、多くの患者が対象外となってしまう。そこで県は、認定基準の緩和をはじめ、対象外となった子供も助成対象となるよう要望しているところである。国の制度に上乗せも: 国に対しは、根強く基準の緩和を求めていく欲しい。また、それでも国の姿勢が変わらないのであれば、千葉県として(上乗せ)を復活させるよう強く要望する。

美しく、親しまれる海辺に

内田えつし 県議 UCHIDA ETSUSHI